

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成29年10月16日

計画の名称	さがみ縦貫道路IC関連事業											
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	相模原市											
計画の目標	インターチェンジ接続道路の整備を進め、広域的な交流や都市力を高める交通基盤の強化を図り、活力あふれ安心して暮らせる広域交流拠点都市を形成する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	10,221	A	10,221	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	インターチェンジから20分到達圏内の面積を138km ² (H26・市域全体の約40%)から193km ² (H30・市域全体の約60%)に拡大する。 道路現況データ(センサス)や道路整備区間からインターチェンジ20分到達圏を算出し、区域面積を測定する。	138km ²	km ²	193km ²

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	相模原市	直接	-	都道府 県道	改築	(主)相模原町田	現道拡幅 L=4.00Km	相模原市						1,703	-	
	「新たな産業創出拠点へのアクセス道路整備事業(圏央道IC~直轄国道)」へ移行																		
	A01-002	道路	一般	相模原市	直接	-	都道府 県道	改築	(一)長竹川尻・長竹川 尻 期	バイパス L=2.35Km	相模原市						3,135	-	
	A01-003	道路	一般	相模原市	直接	-	都道府 県道	改築	(一)長竹川尻・県道厚 木愛川津久井~市道沼荒 久根小屋金原	バイパス L=0.36Km	相模原市						277	-	
	A01-004	街路	一般	相模原市	直接	-	S街路	改築	(都)相原城山線	現道拡幅 L=0.60Km	相模原市						297	-	
	A01-005	道路	一般	相模原市	直接	-	都道府 県道	改築	(一)長竹川尻・長竹川 尻 期	バイパス L=1.00Km	相模原市						2,910	-	
	A01-006	街路	一般	相模原市	直接	-	S街路	改築	(都)相模原町田線・J R相模線立体交差区間	バイパス L=0.5Km	相模原市						1,899	-	
	「通学路の安全・安心を確保する基盤整備計画(防災・安全)」へ移行																		
												小計						10,221	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						10,221			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	1,137	191	11	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	1,137	191	11	0	
前年度からの繰越額 (d)	525	333	61	54	
支払済額 (e)	1,329	463	18	54	
翌年度繰越額 (f)	333	61	54	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： さがみ縦貫道路IC関連事業

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合が図られている。(計画名 国土形成計画全国計画、社会資本整備重点計画、新・相模原市総合計画)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合が図られている	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合が図られている	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 全体事業費、要素事業の額が適切である	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている	○

(参考図面)

